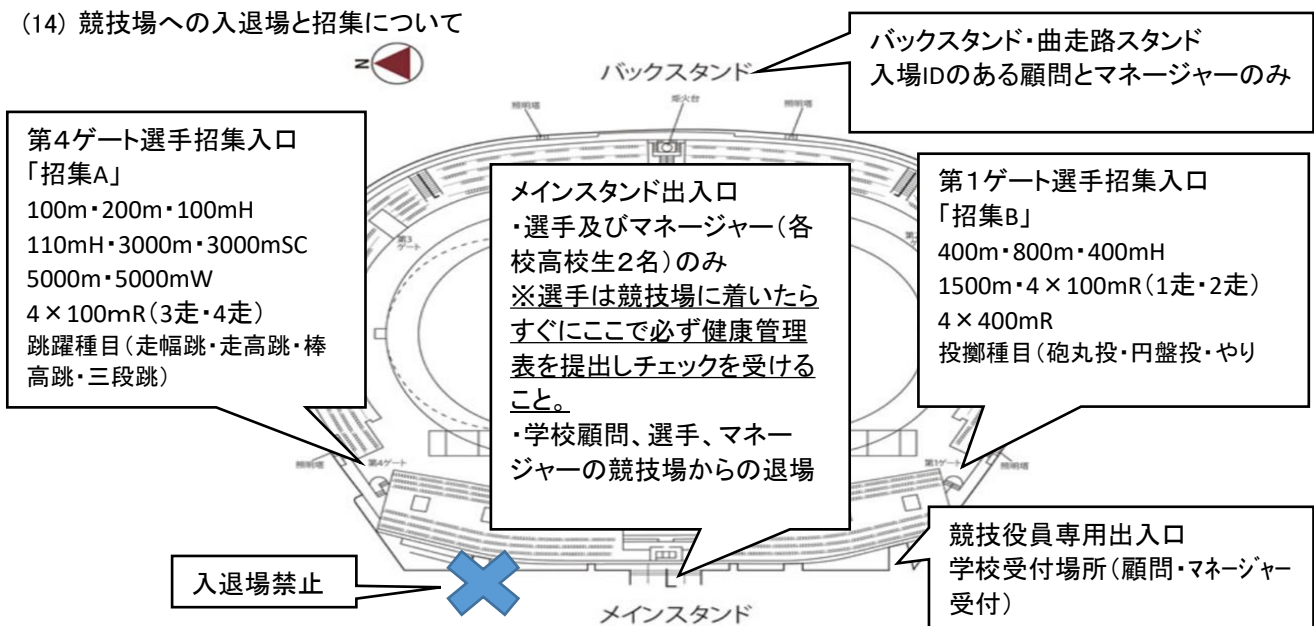


# 競技注意事項

2020愛知県高校新人大会

## 1 コロナウイルス感染拡大防止対策

- (1) ・今大会は無観客とし、競技場へ入場できるのは、各学校の陸上競技部顧問、競技役員、選手、マネージャー（高校生2名まで）のみとする。競技場へ入場する人は全て体調管理表の提出が必要となる。**競技場に着いたら最初に必ずマスクを着用し、選手はメインスタンド出入口、マネージャー、学校顧問と競技役員は学校受付場所（下図参照）で提出すること。**
- (2) ・本大会1週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理表」（高体連HP）を記入する。  
・競技場に着いたら最初に必ず選手はメインスタンド出入口でマネージャーは学校受付場所ですべて体調管理表の提示と検温を行う。このチェックを受けなければ、本競技場、北陸への入場や招集を行うことができない。  
・**2種目以上出場する競技がある選手は参加種目数分の体調管理表を準備すること。**  
・体調管理表は最終コールで回収する。提出がなければ競技会への出場は認めない。  
・**決勝に進出する選手はアスリートピブス(ナンバーカード)を入場IDとして提示することで、競技場に入場できる。招集は招集場で招集時間までにアスリートピブス(ナンバーカード)を提示する。**  
・学校の顧問も全員、学校受付で体調管理表を提出が必要となる。その時、入場IDを配布する（審判の先生は審判員証でよい）ので競技場の入退場使用する。学校顧問はメインスタンド出入口から入退場する。  
・大会当日に出場できない選手がいる場合は、学校受付時に棄権届を記入し、提出すること。  
・大会後の2週間についても「大会後・自己管理用 体調管理表」（高体連HP参照）を記録すること。
- (3) ・出場する種目の競技開始2時間前から競技場への入場を認める。それよりも早く競技場へ来場しないこと。  
・上記の範囲で本陸で朝のアップを行う場合は7時50分から9時20分まで使用可とする。  
・自身の競技が終了したら、スタンドには寄らず、すみやかにメインスタンド出入口から競技場を出る。
- (4) ・選手は正面スタンドの学校ごとに割り当てられたエリア（**高体連HP参照**）のみ利用することができる。  
・荷物置き場としての利用のみとする。  
・競技場内外ともにテントは設営しない。横断幕は設置しない。
- (5) 新型コロナウイルス対策のため各自で出したごみは必ず持ち帰ること。清掃当番校の割り当てはありません。
- (6) 競技場周辺の公園での練習等は絶対に行わない。（バックスタンド裏、野球場周辺など）
- (7) 声を出しての応援は個人、集団問わず禁止する。
- (8) ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける行動をする。
- (9) **表彰式、閉会式は行わない。**
- (10) 更衣室について  
本陸1階北側の更衣室を2カ所（男女）を女子更衣室とする。男子の更衣室は雨天走路に設営する。  
北陸の更衣室は男女ともに使用しない。シャワーの使用はできない。
- (11) 雨天走路は控室や練習場所としての利用は禁止する。  
100m、200m、100mH、110mH、3000m、3000mSC、5000m、5000mW、4×100mR（4走）の競技を終えた選手の荷物を取りに戻る帰路として利用する。
- (12) 記録の掲示は決勝進出者以外は発表しない。決勝進出者はWEB速報を見て（当日QRコードを配布）確認するか、メインスタンド出入口階段下でも確認できる。
- (13) 競技終了後は必ず手洗いや洗顔などを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努めること。
- (14) 競技場への入退場と招集について



**競技場へ入るには全ての人が検温と体調管理表の提示が必要となります。**

・選手はメインスタンド出入口、マネージャーは学校受付場所で検温と体調管理表を提示する。  
(このチェックがなければ本競技場、北陸への入場や招集を行うことができません。)

- ・スタンドへの入場はメインスタンド出入口のみとする。バックスタンドへの入場は顧問とマネージャーのみ。
- ・招集場所へは競技場内から行くことはできない。競技場の外から指定されたゲートより入場し、招集を行う。
- ・トラック種目は招集A(第4ゲート)と招集B(第1ゲート)の場所で指定された種目の招集を行う。
- ・フィールド種目については指定されたゲートより入場し、各種目の招集完了時間までに現地で招集する。
- ・100m・200m・100mH・110mH・3000m・3000mSC・5000m・5000mW、4×100mR(4走)の選手については競技後、雨天走路を通り荷物置き場より各自の荷物を通してメインスタンド出入口より退場する。
- ・招集の際、自分の荷物を全て持ってくる。競技終了後はスタンドへ立ち寄ることはできない。競技の最中は各競技ごと指定された場所に全ての荷物を置き、競技終了後はメインスタンド出入口より速やかに競技場から出

## 2 競技会全般に関して

- (1) 本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則に則って行う。  
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
- (2) 各校引率教員は、出場する競技の招集開始時刻までに学校受付を完了すること。この受付がない場合、選手は競技に参加することができない。この時、顧問の先生に入場IDを渡す(審判の先生は審判員証でよい)。また、棄権する選手がいる場合は棄権届を提出すること。
- (3) 選手の変更は認めない。
- (4) ウォーミングアップについて  
ウォーミングアップの実施は競技場内で競技開始2時間前から実施することとする。競技が終了したらすみやかに
  - ① 本競技場
    - ・7時50から9時20分まで練習可能とする。(ただし、棒高跳びはそのままに現地で招集)
    - ・競技会準備の妨げにならないようにすること。
  - ② 北陸上競技場
    - ・本陸のメインスタンド出入口で検温と体調管理表を提示してからでなければ利用できない。
    - ・競技役員の指示に従って利用すること。
    - ・終了時刻は両日とも、最終種目招集開始時刻までとする。
    - ・跳躍練習、投擲練習は実施できない。
    - ・他人の怪我につながる可能性のある行為をしないこと。
    - ・出場種目の2時間前から最終コールまで使用可とする。
    - ・設置されている用器具(ハードルとスターティングブロックを設置)以外の貸し出しは一切行わない。
    - ・更衣室は利用できない。
  - ③ レクリエーション広場
    - ・使用しない。
  - ④ 本陸上競技場雨天走路
    - ・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から使用を禁止する。
    - ・シートなどによる陣地の設置も禁止とする。
- (5) 施設設備の使用について  
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。
- (6) 表彰について
  - ・各種目6位までを入賞者とし、賞状を授与する。
  - ・各種目の得点は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
  - ・男女それぞれ総合6位まで、トラックの部・フィールドの部3位までの学校に賞状を授与する。
  - ・表彰式、閉会式は実施しない。賞状は学校顧問が表彰室に取りに行くこと。
- (7) 東海新人大会出場について
  - ・今年度は実施されません。
- (8) 写真及びビデオ撮影について  
肖像権等の法に触れる行為に関して、個人で記録したものを無断でネット上にアップロードしたりしないこと。

## 3 競技に関して

- (1) アスリートビブス(ナンバーカード)について
  - ① 規定のものを、胸部・背部に必ず固定しておくこと。
  - ② 跳躍競技については、いずれか一方のみでもよい。
  - ③ トラック競技については、腰ゼッケンを現地で受取り、右腰やや後部につけること。競技終了後は各自で持ち帰り廃棄すること。
- (2) 使用器具について
  - ① 原則として競技場備え付けのものを使用すること。
  - ② 「やり」と棒高跳における「ポール」については私物を使用してもよい。私物を使用する場合には検査を行い、「やり」については一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとする。なお、検査については次のとおり。
 

検査時間	招集開始1時間前から招集開始時刻まで。
検査場所	ポール：現地 やり：南側器具庫(フィニッシュライン付近)

- ③ スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)
- ④ **WA 規則第143条(TR5:シューズ)のルール再改訂における本大会での適用について**  
本大会は、移行期間中の大会であり、標記の規則を適用せず実施する。ただし、標記規則における適用外シューズをしようする競技者は、招集の際に、「適用外シューズ使用」を申告する。同時に、シューズを持参し、競技者係のチェックを受け、出場する。記録は国内の公認記録として認められる。ただし、申告及びチェックを怠り、競技に参加した選手がいる場合、全員の記録は、WAの記録としては無効とされる場合がある。**※今大会では800m以上のトラック競技において靴底の厚さ(25mmを越えたら申告)のチェックを実施。**

(3) 招集について

- ・招集で体調管理表を提出する。提出がなければ、競技会への出場を認めない。  
(リレーの補欠選手の体調管理表はリレーの招集時に「第1ゲート 招集B」に全員分まとめて持ってくること。)
- ・各ゲートへの入場は必ず競技場の外から入ること。
- ・トラック種目は競技開始20分前から指定されたゲートより入場し、10分前までに指定の招集所で招集を行う。
- ・フィールド種目は競技開始40分前から指定のゲートより入場し、30分前までに現地で招集を行う。
- ・棒高跳びについては競技開始90分前から指定のゲートより入場し、70分前に現地で招集を行う。
- ・**リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所(100mスタート横 選手ホール)に提出すること。**
- ・各競技や競技の組ごとに指定された招集時間に遅れた選手は棄権とみなし、その種目の出場を認めない。

(4) 今大会のトラック種目及びフィールド種目の実施方法について

- ・各支部予選会6位以上の選手がプログラムに記載されているが、県大会参加標準記録を突破した選手のみ本大会

「トラック競技」

- ① 100m、200m、400m、800m、100mH、110mH、400mHは予選と決勝を行い、それ以外の種目はリレーを含めタイムレースとする。
- ② リレー種目はエントリーを8人とし、その8人のみ出場できる。
- ③ トラックの計時は、全て写真判定装置を使用する。
- ④ 短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走る。
- ⑤ 男子5000mWはスタート後30分、女子5000mWはスタート後33分が経過した時点で競技を打ち切る。

「フィールド競技」

- ① 全てベスト8を実施する。
- ② 競技場内での練習は、すべて競技役員への指示に従う。
- ③ 投擲競技の計測は、光波測定器を使用する。(運営上の問題で変更する場合がある。)
- ④ 三段跳の踏切版は、砂場から男子12m、女子10mの地点に設置する。
- ⑤ 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について  
※天候等の状況により変更することがある。

種目		練習	1	2	3	4	5	
走高跳	男子	1m65 ～	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以降 3cmずつ
	女子	1m35 ～	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 3cmずつ	
棒高跳	男子	3m50 ～	3m60	3m70	以降 10cmずつ			
	女子	2m10 ～	2m20	2m40	2m60	以降 10cmずつ		

(6) 番組編成について

- ・トラック競技の走路順およびフィールド競技の試技順序は、すべてプログラム記載どおりに行う。
- ・**トラック競技の決勝の発表は、WEB速報を見て(当日QRコードを配布)、確認すること。メインスタンド出入口階段下でも確認できる。**
- ・タイムによって次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録がありレーン数が不足する時の処置は、写真判定主任が0.001秒の実時間を判定して進出者を決定する。それでも決定できない時は抽選とする。

★記録速報webサイト用QRコード

